

3月定例会、2/2、3/30臨時会

* 4年度当初予算	2～3
* 条例	4
* 施政方針	5
* 臨時会	6
* 一般質問	7～14
* 議会開催の概要	15
* みんなの声	16



磐梯幼稚園
英語で遊ぼう

3月定例会 令和4年度予算を可決

一般会計予算額

44億8,110万円

特別会計予算額合計

12億5,554万円

水道事業会計

1億1,718万円 (収益的支出)

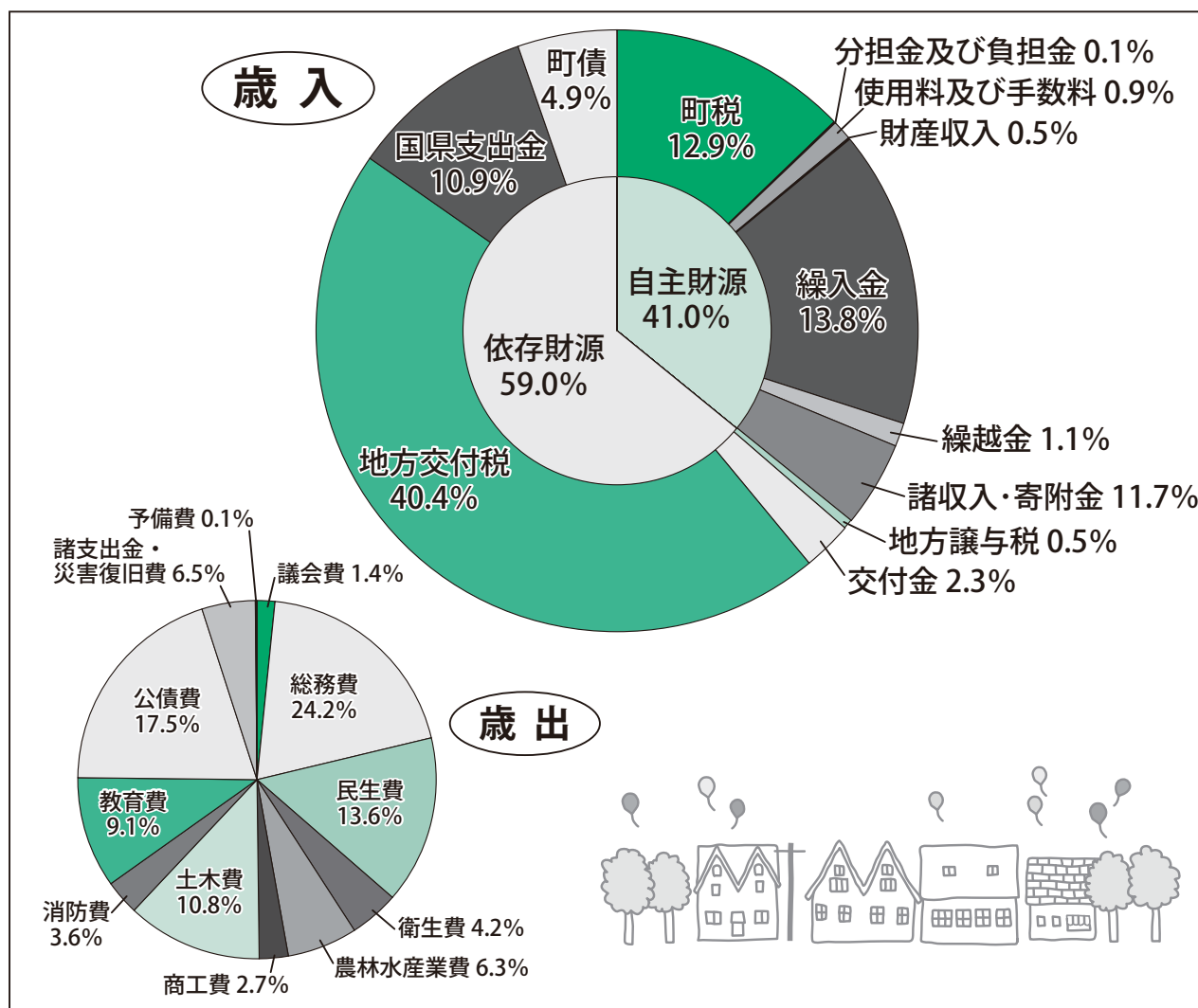
6,554万円 (資本的支出)

3月定例会は、9日から18日までの会期で開催されました。新年度予算案など町長提出24件と、議員提出1件の議案が審議され、すべて原案通り可決されました。

一般質問では8人が登壇し、町政全般について、当局の考えを質しました。

一般会計

重点事業として、役場庁舎空調設備改修事業、ふるさと納税推進事業、デジタル化推進事業などに関する事業を実施。



特別会計予算

国民健康保険	4億2,791万円
後期高齢者医療	4,594万円
介護保険	5億1,986万円
簡易水道	1,907万円
公団分収造林	2万円
農業集落排水事業	3,418万円
林業集落排水事業	1,486万円
公共下水道	1億8,587万円
個別生活排水事業	352万円
七ツ森地区下水道事業	431万円
水道事業 収益の収入	1億3,016万円
収益の支出	1億1,718万円
資本的収入	1,350万円
資本的支出	6,554万円

令和4年度主なる事業（予算額1千万円以上）

役場庁舎空調設備改修事業	1億150万円
公共広場整備事業	3,100万円
ふるさと納税推進事業	2億5,480万円
デジタル地域通貨事業	2,532万円
地域交通運行事業	2,992万円
医療センター医療機器更新事業	1,293万円
広域衛生費負担金	3,038万円
農業振興事業	3,402万円
日本型直接支払交付事業	6,299万円
AR・VRによる3D活用事業	1,200万円
橋梁長寿命化事業	1,160万円
道路維持事業	1億5,367万円
道路新設改良事業	1億3,333万円
河川維持事業	1,090万円
町営住宅長寿命化事業	1,600万円
定住促進宅地造成事業	1,365万円
歴史的まちなみ整備事業	2,100万円
広域消防負担金	1億2,246万円
語学指導外国青年招致事業	1,225万円
ふれあいセンター運営事業	2,975万円
史跡整備事業	2,258万円
磐梯山慧日寺資料館運営事業	2,301万円

住 宅 事 業

住宅管理事業 **2.760**万円

住宅政策事業 **2.440**万円



地域おこし協力隊事業

ふるさと納税事業 **480**万円

磐梯町駅管理事業 **1.224**万円

空き家対策事業 **617**万円

七ツ森センター運営事業
1.188万円

新規就農事業 **1.440**万円

有害鳥獣対策事業 **960**万円

観光振興事業 **480**万円

人事

教育長

高梨哲夫氏（会津若松市）
が新たに選任されました。



条例制定

町長等の損害賠償責任の一部
免責に関する条例の制定

地方自治法の改正を受け、
条例により免責する旨を定め
るものです。

条例改正

磐梯町消防団設置等に関する
条例の一部を改正する条例

消防団員の処遇改善を図る
ため、報酬の引き上げ等の改
定を行うものです。

当初予算の質疑

一般会計

起債の償還について

問 令和4年度が起債償還の
ピークとなるが、財政的に大
丈夫か。

答 町の財政状況は把握して
います。3～5年後の財政
シミュレーションを作成し
て、議会に提出します。

町民グラウンド南側の残土処 理について

問 活用方法はあるのか。

答 残土を一部搬出して、駐
車場とグラウンドゴルフ等
の運動ができる緑地広場と
して活用したいと考えてい
ます。

地域おこし協力隊について

問 令和4年度の新規採用は、
何名か。

答 地域おこし協力隊は2名
を新規採用、地域おこし企
業人は1名を新規採用する
予定です。

有害鳥獣対策について

問 令和3年度の駆除実績は。
答 ツキノワグマが11頭、イ
ノシシが13頭です。

分収造林計画について

問 伐採の計画は。

答 植栽当時では50～60年で
伐採するとの分収計画でし
たが、木材の価格の状況も
あり、実際に伐採をしても、
それなりの収入が得られな
いため、皆伐までには至っ
ていません。

国民健康保険特別会計

問 未就学児童の均等割りの
軽減措置は、予算に反映して
いるのか。

答 当初予算は暫定予算のた
め、国保税の本算定時に反
映させます。

後期高齢者医療特別会計

問 後期高齢の対象者の人数
と、一人当たりの医療費の状
況は。

答 対象者は641名で、医
療費は磐梯町は低い位置で
推移しています。

介護保険特別会計

問 介護保険の第8期計画は、
計画どおり進んでいるのか。

答 当初予算も極端に増加し
ていないため、計画通りに
進んでいるものと理解して
います。

水道事業会計

問 町全域で老朽管がどのく
らいあり、その更新計画はあ
るのか。

答 約17km残っており、今
後国庫補助金や起債等を活
用して随時進めていきたい
と考えています。

農業集落排水事業特別会計

問 大谷地区処理場に入倉処
理場を接続した場合、費用は
どれくらい削減できるのか。

答 送水管を整備し、町道磐
梯大谷線の改良工事と併せ
て行った場合、年間の管理
費について、約56％削減で
きる試算となります。

公共下水道特別会計

問 浄化センター等の設備の
診断は計画的になされている
のか。

答 ストックマネジメントに
おいて機能診断も含まれて
いるため、今後は機能診断
に基づいて更新計画を立て
て、補助事業を活用しなが
ら実施していきます。

2022 町長の施政方針



基本理念「自分たちの子や孫たちが暮らし続けたい魅力あるまちづくり」の具現化に向け、4つの政策目標を柱に、各施策を展開してまいります。

1 未来に繋がるまちづくり

①子育て施策

- ・磐梯町教育・保育施設再編整備基本構想策定会議での最終答申
- ・最終答申を受けて、施設の再編と質の高い教育・保育の提供に向けた町のビジョンの構築

②教育

- ・デジタル教科書等の先端技術や教育データを効果的に活用できる環境の充実

- ・先生方が教育に専念できるよう、働き方改革を含めた校務の効率化の推進

- ・総合計画の見直しに合わせ「磐梯の教育VI」の策定作業の推進

③歴史・文化・交流

- ・歴史的建造物の保存・まちなみ整備

- ・史跡地内の発掘調査の実施

- ・地域の宝（例えば、仁王門、厩嶽山観音堂、恵日寺山門など）の3Dデータ化

- ・カナダ国オリバー市との継続性のある交流の再確認

2 やりがいのある仕事づくり

①農林業

- ・就農支援事業による若手農業者や地域おこし協力隊等からの就農の支援

- ・認定農業者の育成や、農業生産法人等の企業的農業経営体への転換の推進

- ・町農業振興地域整備計画の総合見直し

- ・間伐等による森林環境整備

- ・有害鳥獣捕獲支援事業により対応し、ICT技術の実証の推進

②商工業

- ・地域特産品開発と販路の拡大
- ・地域デジタル通貨発行事業の運用
- ・スーパープレミアム商品券発行事業の継続

③観光

- ・「オンラインキッチン」イベントを継続的に配信
- ・多種多様な観光客のニーズに応える魅力づくり

3 充実した暮らしづくり

①健康・医療

- ・「データヘルス計画」の推進
- ・新型コロナウイルス感染症の予防活動

- ・町医療センターにおける電子カルテの導入

②安全・安心

- ・様々な災害情報をまとめた防災マップの作成

- ・地区単位の自主防災組織の発足支援

③公共交通

- ・町民ニーズに合った公共交通の整備

- ・磐梯町駅、冬期間は磐梯山温泉ホテルも拠点としたカーシェアリング事業の実証実験

4 移住・定住

- ・「磐梯町空き家バンク」への登録の推進

- ・東松山地区の宅地整備
- ・町営住宅の修繕の実施

- ・「交流・関係人口」の創出・拡充による移住人口の増加と企業誘致の推進

共創協働のまちづくり

①行財政運営

- ・ふるさと納税の戦略的な取り組み
- ・行財政の透明化
- ・協働のまちづくり

- ・情報の受発信とコミュニケーションの強化

- ・メディア等に対して、官民共創プロジェクトや町の魅力的な取り組みを発信

③デジタル変革

- ・人に優しいテクノロジーを活用した町民サービスの充実

- ・町民のデジタルリテラシーの向上

- ・マイナポータルを利用した行政手続きのオンライン化

- ・マイナンバーカードの推進

- ・紙やハンコなどの制度的な課題の洗い出し

- ・会津地方における広域のデジタル変革への取り組み

を 政 問 町 (一般質問) う

(登壇順)

－ 古川 綾 議員 － 7ページ

1. 少子高齢化社会における行政区への支援について
2. 町の農業の今後について

－ 齋藤 博 議員 － 8ページ

1. 大規模太陽光発電事業者との防災、減災協定について
2. 各集落内の町道の舗装、補修について

－ 穴澤 一郎 議員 － 9ページ

1. こおりやま広域圏協約締結における町の戦略について

－ 松坂 隆洋 議員 － 10ページ

1. 町のデジタル推進による成果について

－ 小林 修治 議員 － 11ページ

1. 防災行政の充実強化について
2. 教育・保育施設整備と充実した施設運営について

－ 佐藤 文義 議員 － 12ページ

1. 冬期間における防災対策と生活環境の整備について

－ 佐藤 孝則 議員 － 13ページ

1. 新年度予算でのコロナ後の町の対応について

－ 瀬田 晃旬 議員 － 14ページ

1. 伝統文化財継承事業について



2月2日

◆一般会計補正予算(第8号)

4、234万7千円を追加し、総額を50億6、554万5千円と定める。

歳入の主なもの

・国庫支出金

7、144万7千円

・繰入金 △2、910万円

歳出の主なもの

・民生費 3、515万円

住民税非課税世帯に対する

臨時特別給付金

10万円×330世帯

・衛生費

1、268万4千円

・予備費

804万3千円



3月30日

◆一般会計補正予算(第10号)

2億1、968万2千円を追加し、総額を52億8、426万8千円と定める。

歳入の主なもの

・地方消費税交付金

1、123万1千円

・地方特例交付金

9、268万1千円

・地方交付税

8、676万3千円

歳出の主なもの

・民生費 △303万5千円

住民税非課税世帯に対する

臨時特別給付金の事業費確

定に基づく精算

・公債費 △405万1千円

・諸支出金

2億7、390万3千円

基金へ積み立てるもの

財政調整積立基金

2億円

減債基金

7千万円

企業版ふるさと基金

250万円

・予備費

△4、783万7千円



古川 綾 議員

問 集落や行政区にさらなる支援を！

答 町民の声を聞きながら検討する

【質問】 少子高齢化社会において、集落や行政区の維持が困難になってきている。集会所の維持補修に関して本町では経費の20%を補助しているが、会津美里町等では30%、西会津町では40%、会津坂下町では50%を補助し、猪苗代町や北塩原村、湯川村、柳津町など比較的人口の少ない町村では行政で集会所を設置し地区に提供している。本町においても補助率を上げる等、支援を手厚くする考えはあるか。

【町長】 補助率は自治体の政策判断で決められており、一概に高い、低いと判断されるものではありません。本町では集会所整備事業は20%、消防施設整備事業は35%、文化財関係は50%と補助率を定めていますので、総合的な支援策の中で検討します。

【質問】 各行政区の防犯灯について、東北電力からのLED提供やコミュニティ助成金を活用してLED化を進めて

いる行政区もあるが、電気代は行政区の負担となっている。会津若松市では一基あたり年間千円、会津美里町や昭和村では全額を補助している。本町においても補助を検討する考えはあるか。

【町長】 町が助成するのであれば、蛍光灯の器具が製造中止となっていることから、電気料ではなくLED化に対する助成が好ましいものと考えます。

【質問】 集会所や防犯灯の他にも地区で維持している施設は数多くある。施設だけでなく地区の様々な機能や活動を維持するため、集落支援の補助制度を検討する考えはあるか。

【町長】 全国の先進事例を参考にしながら本町に合った仕組みを検討します。

また、行政区においては施設の統廃合や近隣行政区との連携等にも取り組んでほしいと考えます。

問 早期に農業振興策を！

答 農業振興公社の人材確保から

【質問】 水田活用の直接支払い交付金の見直しで令和4年度から要件が厳格化され、本町においても多くの農家で交付金が削減となる見込みだ。国ではなく町が農業を支援する体制を早期に築かなければならない。仮称磐梯町農業振興公社設立について話が出て久しいが、令和4年度の動きを問う。

【町長】 令和4年度はまずは人材確保を考えており、法人設立運営に関わる業務の地域おこし協力隊を募集します。また、専門知識を持った人材を確保するため地域活性化起業人等の制度活用を考えています。

【質問】 ふるさと納税の返礼品でJAのコシヒカリが人気だが、買取米の価格はJA会津よつばで統一されており、磐梯町の生産者に利益が還元されていない。町からJAに交渉できないか。

【町長】 寄附金の使途に農業振興を選ぶ方も多く、巡り巡って農業振興策に活用されています。



齋藤 博 議員



問 太陽光発電業者と防災・減災協定を結ぶべき

答 県と連携し助言指導を行っていく

【質問】現在、町内の東部地域の太陽光発電業者の工事が着々と進められている。広い面積の森林が伐採される為、豪雨・洪水などの土砂災害が起る可能性もある。これまでは、森林・樹木の給水、保水効果によって大規模な土砂災害や洪水被害は発生していないものの、台風到来時や梅雨時期には、集落内の一部に洪水が発生している。

今後、数十年間発電運転が行われる事を考えると、大災害が発生した場合、地域住民との協定書だけでは十分な対応ができない。その為、町が大規模発電業者と土砂災害・洪水防止対策・農地への土砂流出等、災害防止協定を締結することが必要ではないか。町の考えを伺う。

【町長】大規模発電事業に伴い、令和元年8月に森林法に基づく林地開発許可を県から受けています。その中で、災害・水害の防止・水の確保・環境の保全が許可の対象となっているため、安全性の基準は満たしていると認識しています。また、申請の際には、町は必要な助言、指導を行っています。工事期間中、設備完成後も引き続き許可権限者である県と連携し、必要に応じ助言、指導を行っていきます。



太陽光発電ソーラーパネル

現在、工事中の事業については、令和元年5月に町と事業者の間で環境保全に関する協定書を締結しています。その中で、「事業者は開発行為の施行に起因して災害、または公害が発生、または発生する恐れが生じたとき町が判断した場合、町の指示に従い自らの責任と費用負担のもと遅滞なく必要な措置を講じなければならない」という取り決めをしています。

問 町道の舗装を計画的に行うべき
答 舗装個別計画を算定・本年度着手

【質問】近年、町道の舗装補修が計画的になされていない。自転車の通行も年々増加しているが、交通量の多い路線は傷みが激しい。「快適で安全な町道」は交通事故の発生予防と地域の安全に寄与するものと考えます。

パッチング補修をしても、すぐにまた崩れてしまう箇所が見受けられる。損傷の多い箇所はそれなりの原因があるので、再舗装を計画的に実施すべきではないか。町の考えを伺う。

【町長】道路パトロール等で異常箇所が発見された段階で、職員や業者によるパッチング補修を随時実施していますが、修繕の抜本的な解決には至っていない現状です。

町では、令和3年度から町道55線について路面性状調査を実施し、その調査結果を踏

まえて舗装個別計画を策定し、舗装補修工事を行っています。また、各行政区から町道に対する課題や要望について聞き取りを行い、維持補修を行っています。

道路補修作業のイメージ





穴澤 一郎 議員

問 こおりやま広域圏における町の戦略は？

答 地域課題解決に向けて取り組む



連携協約締結式

【質問】令和4年2月に「こおりやま広域圏」と協約を締結したが、その目的は。

【町長】郡山市を含めた県中地域は首都圏と直結しており、人の往来や物流など会津地域にとって社会経済を維持するために重要な地域です。本町の様々な課題解決と会津地域への貢献のため、郡山市と連携協約を締結しました。

また、こおりやま広域圏の構成市町村と21の企業や団体との間で公民協奏パートナーシップ協定も締結しており、さらなる地域課題の解決へつなげます。

【質問】積極的に進める事業は。

【町長】こおりやま広域連携中枢都市圏ビジョンには77の事業が具体的取組として挙げられています。

その中でも、経済成長においては外国人観光客の受け入れ環境の整備と首都圏を中心にした観光PRを進めます。生活サービスにおいては広域避難や相互応援体制の確保といった災害対策を行います。定住促進としては空き家情報提供の連携や移住イベントなどを、圏域市町村で連携して取り組みます。

【質問】町と町民のメリットは。

【町長】これまで本町が単独では取り組むことが出来なかった事業も、連携することによって可能になります。また、事業費の8割が特別交付税で措置されるため町にとっては財政的に大きなメリットとなります。町民のメリットとしては、

構成市町村の公共施設である図書館などを無料で利用できるようになること、福島フアイヤーボন্ズのスポーツ教室等で交流ができるようになることが挙げられます。

【質問】会津地域との連携はどのように考えているか。

【町長】会津地域との連携はこおりやま広域圏加入後も変わることはありません。逆に、会津地域と県中地域の連携役として本町および会津地域の発展のために活動していきます。

「広め合う、高め合う、助け合う」
～ 持続可能な圏域の創生 ～



こおりやま広域圏

次回の定例会は6月上旬に行なわれます。

マスクを着用して、ぜひ傍聴においでください。

手続きは、3階議場入口で住所氏名を記入するだけです。

くわしい日程は、後日チラシ等でお知らせします。

議会を傍聴する際、3階へはエレベーターをご利用ください。

松 坂 隆 洋 議員



問 これまでのデジタル活用の施策と効果は？

答 行政全般にわたって積極的に取り組んできた

【質問】町のデジタル変革推進室は3年間の期限付きの組織である。これまでに実施したデジタル活用の施策とその成果、令和4年度に実施予定の施策の具体的な内容を伺う。

【町長】これまでは、マイナ

ンバーカードの普及、シニア向けスマホ教室の開催、パーパレス会議システムやアプリ開発ソフトを活用した役場業務の省力化、GIGAスクールやコドモンの活用による教育保育環境の充実等に取り組んできました。

令和4年度は、地域デジタル通貨の通年利用による地域経済の活性化、行政手続きのオンライン化、VR・ARを活用した観光の活性化等に取り組む予定です。

【質問】デジタル機器に馴染みがない高齢者の方にも、わかりやすく情報を伝えていくことが重要だ。そうした方々に対してどのように広報を行ってきたのか、その実績を伺う。

【町長】シニア向けスマホ教室を開催し、高齢者の方でもスマートフォンなどのデジタル機器を利用して情報を取得する事ができるように取り組んできました。併せて引き続き町の広報を紙で行うなど、対応していきます。

【質問】町は、行政のデジタル化にいち早く取り組んできました。総務省が昨年7月7日に発表した自治体DX（デジタルトランスフォーメーション）推進手順書概要の参考事例集に磐梯町が掲載され、全国的に町の認知が高まってきた。そこで、これまでの全国の自治体、関連団体からの行政DXについての視察件数とその内容について伺う。

【町長】これまで、全国の自治体・議会・各種機関から23件のオンライン視察を受け入れていきます。視察の内容は、組織風土の醸成や人材育成、外部人材の登用と活用、地域デジタル通貨やパーパレス会議などの具体的なデジタル



高齢者向けスマホ教室

技術の活用、官民共創の取り組みとその成果です。
視察対応の際には、苦勞したことや失敗したことなども包み隠さずお伝えしました。そのため、他の自治体の皆様からは「非常に参考になった」と感想をいただいています。

ご意見ご要望をお寄せください

☎ 7 4 - 1 2 1 9 Fax 7 3 - 4 3 0 1

E-mail: bandai-gikai@town.bandai.fukushima.jp

磐梯町議会事務局



小林 修治 議員

問 地区自主防災組織の支援と推進の考えを伺う

答 重要性の認識から、地区懇談会で説明したい

【質問】防災備蓄倉庫整備計画の進捗状況と現施設の備蓄内容及び配給容量を伺う。

【町長】仮称更科グリーンスタジアム整備構想は、具現化には至っていません。

備蓄品は、保存食・水・乳幼児用ミルクなどの食料とオムツ・生理用品・毛布などの生活用品、200人3日分を確保しています。



防災備蓄倉庫施設（町民グラウンド隣）

【質問】西部地区の指定避難場所の追加・見直しの考えは。

【町長】西部地区において想定される土砂災害の被害想定範囲内の住民収容は、第二小学校で十分であり、追加・見直しは考えていません。

【質問】災害時における行政と町民の役割と自主防災組織の考えを伺う。

【町長】行政は防災計画に基づき人命救助や復旧・復興に努める（公助）、町民は防災・避難に取り組み（自助）、地域の方々は協力・助け合う（共助）役割と思っています。自主防災組織の重要性については、町民に説明します。

【質問】火山防災以外のマップ作成の取り組みを伺う。

【町長】令和4年度中に作成します。

【質問】防災行政無線における分かりやすい表現使用の運用についての考えを伺う。

【町長】消防団員全員に地域防災アプリにより、地図上で場所・情報内容を提供しております。町民の方々には、災害場所の行政名と目標となるものをお知らせします。

問 教育・保育施設整備と運営について

答 再編会議の答申を参考に対応する

【質問】学校教育・保育の一体的な提供における現状認識と課題を伺う。

【町長】磐梯版ネウボラをすすめるにあたって、定期的な担当者会議の開催、子どもに寄り添った支援を行います。

個々の支援計画やケース会議の開催等、保・幼・小・中の情報共有化が課題です。

【質問】基本構想策定の時期及び今後の予定を伺う。

【町長】本年12月までに答申をいただき、町として十分に検討し、できるだけ早い段階で具現化します。

【質問】保育所等4つの施設運営の課題と対策を伺う。

【町長】施設ごとに対象児童が異なり、それぞれに課題は

あると認識しています。再編会議において、課題を洗い出し、解決に向けた検討をしていただいております、答申を参考に対応します。



検討対象となっている児童館施設

【質問】幼児からのデジタル化推進の構想を伺う。

【町長】デジタル化に対しては、今後さらに期待が高まるかと思っておりますので、発達段階に応じて対応します。

佐藤 文義 議員



問 冬期間の消火栓確保について伺う

答 消防団幹部会議を通じてお願いしている

【質問】 不便な地域に住む除雪できない高齢者世帯に対して、3ヶ月位町営住宅の提供はできないか伺う。



管理を委託している消防施設

【質問】 積雪から消火栓を守り、災害に備える対策の拡充を図るべきであるが、その管理は徹底されているか伺う。

【町長】 各集落において除雪、除草の管理をいただいております。特に降雪の多いときは、消防団にお願いしています。

地域の方々にも、共助の精神で自宅の除雪を行う際、近くの消火栓の除雪も行っているだけだと思います。



高齢者世帯が多い町営住宅

【質問】 高齢者世帯が多い諏訪山町営住宅敷地は除雪されず不便である。緊急事態の場合はどうする考えか伺う。

【町長】 町は幹線道路や公共施設、駅、学校、病院などに通じる路線、バス路線など生活道路として重要な路線を選定し、除雪をしています。

また、地区などからの要請に基づいて、その都度対応しています。

なお、公営住宅の季節的な使用は、公営住宅法などにより、目的外使用となることから難しいと考えます。



【町長】 町営住宅敷地内の除雪は、入居者の方々が実施するのが原則となっています。

一人暮らしなどの高齢者世帯については、町の「在宅高齢者福祉サービス事業」の除雪サービスを活用いただいております。

なお、除雪問題は町営住宅入居者に限らず、町全体の課題として認識しており、行政・民生委員など関係者と連携を図りながら問題解決に向け取り組んでいきます。

議会に参加しましょう

町民の要望などを直接反映させるための方法として、誰でも請願書や陳情書を議会に提出することができます。

議会では、議員の紹介があるものを「請願」、紹介がないものを「陳情」として扱っています。



佐藤孝則議員

問 新年度予算でのコロナ後の町の対応について

答 消費拡大や家計への経済支援など進める

【質問】新型コロナウイルス感染症により、町民の生活に多大な影響を及ぼしている。コロナ禍で疲弊した町民に對して、令和4年度予算では、町はどのような対応をするのか。

【町長】新型コロナウイルスは、未だ収束見通せない状況です。令和4年度については、今後のウィズコロナ、ポストコロナを見据え、町内での消費拡大、家計への経済支援を目的に、スーパープレミアム商品券発行事業の継続、通年で使用できる町独自のプレミアムポイント付きデジタル通貨を発行し、さらなる家計への支援と地域内経済の活性化を図ります。

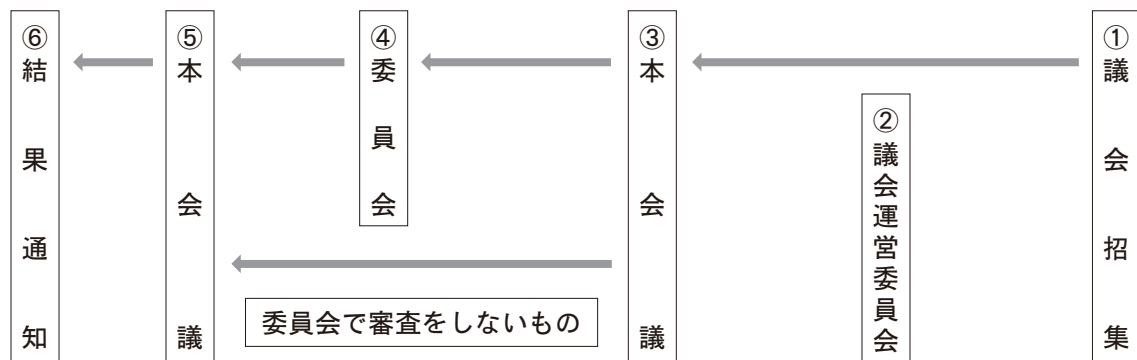
また感染拡大の影響で売上が減少した地場産品の消費拡大を図るためPR、販売サイト、ECサイトを振興公社と連携して取り組みます。
農業者支援は飼料用米など推進交付金を増額して直接的な支援、新型コロナウイルス感染症緊急農業生産対策事業



農産物ブランド 磐梯さとやまの恵み

の創設による農業機械の購入、町農産物の販売促進を図るため、地域活性化センターのさらなる活用と6次化商品の開発などを展開します。
また、新規就農者支援継続や農産物ブランド確立事業の拡充など継続支援をしていきます。

議会の流れ



① 町長が町議会の招集をします。なお、議員定数の4分の1以上の議員が請求した場合、20日以内に臨時会の招集をします。

② 議会を円滑に運営するために設置されており、定例議会の開催日程調整、本会議の進行の確認等を行います。

③ 会期の決定、議員からの一般質問に対する町長答弁、提出案件の説明等を行います。また、提出案件の内容によっては、委員会付託し審査すべきか決められます。

④ 委員会は、議会で審議される案件に専門的知識や経験を活かし事前審査を行います。

⑤ 委員会での審査結果報告等を踏まえて、討論や案件の採決をします。

⑥ 提出された案件の採決結果を町長等に通知します。

瀬田晃旬 議員



問 伝統文化継承事業について

答 可能な範囲で支援をしていく

【質問】 コロナ禍の中で舟引き祭りや巫女舞、赤枝彼岸獅子など思う存分に実施できずにいる。

この事態は、伝統文化継承の危機的状況であり、町としてどのような支援ができるのか。



巫女舞（過去の資料）

【町長】 コロナ禍が続く中で、伝統芸能の開催については、なかなか難しいものと考えています。

指定文化財であるからといって、行政側からの積極的な開催を呼びかけることは、現段階では控えたいと思います。

保存団体により開催する場合、あるいは継承のための練習など行う場合は、文化財の保存継承事業としての範疇において、費用面の補助をはじめ、指導員招致や民間補助に対する仲介や事務支援など、可能な範囲で支援を行います。



赤枝 彼岸獅子

【質問】 江戸時代の古文書に残る「明神の舞」が関係者の尽力で平成29年に復元され、本寺地区では令和2年の舟引き祭りで初披露するため、復元者の懸田先生をはじめとし

た指導員の先生方に舞の指導を受け、地区の関係者も猛練習をして準備を進めてきたが、今現在も実施できずにいる。

今後、条件を整えて初披露できる機会を町として整えるべきと考えるが、町の考えは。

【町長】 「明神の舞」については、ご指導いただいた先生方をはじめ、本寺区住民の皆さまの多大なる協力のもと、百数十年以上を経て復元されました。

残念ながら、これまで披露する機会に恵まれなかったことは、大変心苦しく思っています。

町としても新たな民俗芸能の取り組みとして大いにPRし、史跡慧日寺跡で開催している野外イベントの際にはご公演いただく計画も検討しています。その際は、ぜひ協力をいただければ幸いです。

議会議員の
出産休暇が
承認される

標準会議規則の中で議会の欠席理由として「出産」が認められています。

しかしながら、議会と議員の間には雇用関係がないことから、本人自らが欠席日数を決めて議長に届け出る方式でした。

そのため、全国的には議会内で理解が得られなかったり、有権者からの意見があったり、本人が遠慮したりして、十分に休めないケースが少なくなかったようです。

そこで、磐梯町職員の出産休暇が産前8週間、産後8週間であることから、議会議員にも同様の休暇を付与するということで、議員の全員一致で承認されました。

ロシアによるウクライナ侵攻に 断固抗議する決議を採択

2月24日にロシアがウクライナに軍事侵攻を行ったことについて、磐梯町議会では、議員提案により全員一致で断固抗議する決議を行いました。

ロシアによるウクライナ侵攻に断固抗議する決議

去る2月24日、ロシアがウクライナに軍事侵攻を行った。この軍事侵攻は、明らかにウクライナの主権及び領土の一体性を侵害し、武力の行使を禁ずる国際法の深刻な違反であり、国連憲章の重大な違反である。

また、核の使用をほのめかし、世界を恫喝するなど言語道断であり、断じて許すことができない。国際社会が連携し、この非道な侵略国に対して毅然とした対応で臨んでいかなければならない。

よって、本町議会は、ロシアに対し、厳重に抗議するとともに、即時に攻撃を停止し、部隊をロシア国内に撤収するよう強く求める。日本政府においては、在留邦人の安全確保に全力を尽くしながら、国際社会と強く連携し、経済制裁措置を始めとする厳格な対応をとることを強く求める。

以上、決議する。

令和4年3月18日

磐 梯 町 議 会

令和3年 議会開催の概要

令和3年1月1日～12月31日

区 分	会期 日数	会議 日数	付 議 事 件 数										一般 質問	傍聴者	
			町 長 提 出					議 員 提 出							請願
			条例	予算	決算	専決 処分	その他	意見書	決議	条例	その他				
定例会 (3・6・9・12月)	30	12	11	36	12	1	19	3				3	33名 51件	52名	
臨時会（7回）	7	7	8	11			3								

用語の説明

○条例とは

地方公共団体が、自立立法に基づいて制定する法の形式です。憲法第94条により、地方公共団体は国で定める法律とは別に、地方の事務に関し議会の議決を経て独自の法規を制定できます。また、その効力は、法律の範囲内とされておりますが、自立立法の目的・趣旨が地方公共団体の裁量により、法律よりも厳しい条例が制定されることもあります。

○専決処分とは

本来、議会の議決・決定を経なければならぬ事項について、地方公共団体の長が地方自治法の規定に基づいて、議会の議決または決定の前に、特定要件の場合にかぎり、議事に代わって処理することです。

みんなの声

磐梯幼稚園保護者の皆様の声①

コロナが終息しない中、幼稚園及びこども館の先生方には大変お世話になっており、助かっています。子供の成長が楽しみです。

幼稚園のラインひき等環境の整備ありがとうございました。人口減少の対策の若者住宅や子育て支援に力を入れておられることはとても良い事だと思うのですが、子供を預ける施設が同じ町のものなのに、施設により質が全く違い戸惑うことがあります。そして核家族が増え乳幼児を抱える家庭が多い中、早朝の草刈り（にんそく）の参加は難しいものがあると思います。就農していない家庭もある中草刈機がある事前提のものもあり、不参加の場合は不参金。人口もまだ減少し続けていますので、今後はもっと厳しくなると思います。今後行政で対応していく事も視野に入れて対策をお願いしたいと思っています。

公園について 近隣の市町村に比べて遊具やトイレ設備などが整っている公園が無いと思います。唯一の一区の公園も、砂場もなく、トイレも子供が怖がる汲み取り式のトイレ。ゲートボールがある日は邪魔にならないように遊ばせなくてはいけない。遊具も小さい子供向けではないものがほとんど。安心して小さい子供も遊べる公園が町にせめて1つはほしいです。

ふれあいセンターの水深について、幼稚園児から利用できる施設で、水深を変えることができるのに、現状は常に1メートル。1メートルちょっとしかない子供にとっては深過ぎて怖がり楽しめません。時間帯や曜日などを決めて水深を変えてほしいです。

磐梯幼稚園の保護者の皆様の声を2号連続で紹介いたします。



編集後記

いまだに収まらない新型コロナウイルス感染症、人と人の絆や大切な事が阻害されている。そんな中でのウクライナへのロシア侵攻、断じて許されざる行為である。一般市民までもが無差別に攻撃されている。原発への攻撃や核使用をちらつかせての恫喝など言語道断である。平和を望む多くの国々の力により、一日も早くロシア軍が撤退し平和になる事を望む。

町議会では、ロシアへの抗議文を採択しウクライナへの義援金を送った。

3月定例会の傍聴者は、多くの高齢者が議会の状況を見守った。少しでも議会や町に関心を持ってもらえるように今後も広報活動に努めたい。

（文責 瀬田晃旬）

議会だより 発行責任者

議長

鈴木 久一

広報委員会

委員長

瀬田 晃旬

副委員長

古川 綾

委員

委員

玉水 まどか

小林 修治